

（重心型）障害児通所支援事業所 Ra:SeeSar



障害児支援分野の ICT 導入モデル事業

～事業報告～

〔Ra:SeeSar が抱えていた課題〕

① 事業所保有のパソコンが2台と少なく、作業効率が悪い。

〔以下、主な業務〕

- ・請求業務
- ・個別支援計画書などの作成
- ・感染対策委員会などの委員会業務など
- ・ご利用児の日々の取り組みを写真や動画で保存
- ・利用予定表などの作成・確認作業

これらの業務を2台のパソコンで円滑に進めることが困難・・・。

② ご利用児の記録をタブレット端末「ほのぼの more carepallet」で実施。これまで2台の端末で行っていたが、ご利用児の増加のため、支援後に即座に入力することができない場面が多く、未入力となってしまうことがあった。終業時間になってもケア記録が入力できない状況が頻回にあった。

〔補助事業内容〕

機 器 名	導 入 数 量	単 価（円）	機器導入費用 （円）	初期設定に要する 費用（円）
ノートパソコン	2式	287,100	574,200	9,680
タブレット端末	1式	131,120	121,120	33,000
クラウドサービス	2式	3,630	7,260	0

機器導入費用 合計（円）	712,580	初期設定に要する費用（円）	42,680
実支出額 （円）	755,260	補助申請額 （円）	566,000

[導入された ICT 機器と導入成果]

ICT 機器	台数	導 入 効 果
ノート PC	2	□ 各種書類作成を4台のパソコンで円滑に作成！ストレス軽減！ ・各種マニュアル作成、補助金申請業務、各種様式整備、業務日報管理、各種委員会に係る資料作成、研修会資料作成など、全てのスタッフで役割分担し、業務の円滑化につながり定時退社が叶った。 ・個別支援計画書などの書類作成も、児童発達管理責任者が他スタッフに遠慮せず集中して作成に取り組むことができ、ストレスの軽減につながった。
タブレット (ケアパレット)	1	□ 支援記録入力がスムーズに。記載漏れが激減！ ・利用開始時間、検温結果、排便管理、入浴支援、間食の有無、処置内容、利用終了時間、送迎の有無、支援提供記録など、多くの記録を支援後に入力できるようになり、記録漏れがなくなった。また、スタッフに心の余裕も持てるようになり、丁寧な記録が実現できた。 □ SNS 媒体による連絡帳配信も丁寧かつ迅速に！ ・連絡帳配信（活動の様子・ご家族への連絡事項・画像及び動画添付）に要することができる時間が延伸し、丁寧な申し送りや活動時の様子をお伝えすることが実現できた。 □ 定時退勤が当たり前になった。 ・支援記録や連絡帳配信が終業時間までに終わることができ、短時間ではあるが終業前ミーティングを行い退社することができている。翌日の申し送りなども可能となり、安心して翌日出勤することができている。ノー残業を目指していたが、それが叶って嬉しい！

